

事業所名

クリアスポーツ（単位②）

支援プログラム

作成日：令和6年11月1日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のライフステージに合わせ、必要としている支援を、必要なタイミングで提供する。また、幼いころから関わることにより、信頼関係構築の上支援し、利用者本人の希望を地域に発信し、叶えるお手伝いをする。当社の役割は、障害児者の人生をより豊かなものにするため、寄り添いプロデュースすることにある。</li> <li>・子どもたちに様々な「体験」を「経験」として積み重ねることで、人生を生き抜く力を育み、未来の可能性を広げられるように支援する。</li> </ul>		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所専用のプールとトレーニング施設や器具を用い、水泳指導や水中リハビリ、ダイエットプログラムなど、利用者様の運動機能向上や体力向上を図り、作業力やQOLの向上を支援しています。体力測定の数値から、産学連携と理学療法士によるエビデンスを基に、個々に合った個別運動プログラムを提供しています。また、スポーツを通し、ルールを守ることやマナーを身につけ、社会性を育みます。</li> <li>・プールを利用した運動療育プログラムを中心に「行動」ではなく「思考力（考え方）」を支援することを第一に、自分自身で「考え」「行動」できるをモットーに、自主性を育むよう寄り添いながら支援します。</li> </ul>		
営業時間		10時00分から19時00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動プログラム：日常生活の中で必要とされる、子どものQOL向上を目指した支援をしていきます。姿勢維持のために必要な筋力や、食事や発声に大切な口腔筋力の向上を目指します。</li> <li>・「服の着脱」「タオルで身体を拭く」「靴の着脱（靴下含む）」等を練習していきます。シャワーやお風呂が苦手な子どもには洗髪方法を指導し、清潔感を促します。</li> <li>・決まった時刻にプログラムを実施し、生活リズムや生活習慣の形成を図ります。また、場面の転換や気持ちの切り替えに必要な支援や訓練を行います。</li> <li>・その他：手洗い・更衣・食事など、日常生活における生活動作の習得を支援します。希望者には、医師の指示の基、本人の能力に合わせた服薬管理を行ないます。適齢期の女性利用者には、月経時の身体的、精神的健康管理及び必要な知識や動作を習得できるよう女性職員が支援します。</li> </ul>		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール運動プログラム：理学療法士と「健康関連体力」（心肺持久力・筋力、筋持久力・柔軟性・身体組成）の向上を図っています。水の特性を利用し、心肺機能や呼吸機能の向上を図ります。また、運動が苦手な子どもでも、無理せず自分の意思で「運動強度」を調整でき、陸上運動では体感できない、浮力と水圧で怪我無く安心して運動に取り組めます。</li> <li>・水の中では、肩まで浸かると体重が10分の1になり、関節の可動域が広がり、弱い筋力でも様々な動きが可能になり、リハビリ運動も行なっています。</li> </ul>		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動プログラム：その日の体調で本人のイメージ通りにできないことが多く、そこでなぜできないのか一緒に考え、少しずつ苦手なことに挑戦し、課題をクリアすることを積み重ね、自己肯定感を高めていきます。</li> <li>・「順番待ち」「説明を聞く」など、流れの中で覚えていくことで状況判断の思考を促します。なりたい自分を想像し、一緒に目標を立てることで、苦手なことにも取り組む姿勢を育みます。</li> </ul>		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動プログラムでは、「二人組」「グループ」で実施し、同年代の子どもたちとコミュニケーションをとる機会を設け、職員が仲介し意思表示ができるよう支援します。練習後に遊びの時間を設定し、遊びながら友達と話しやすい環境を準備し、自分から話しかけられるよう促します。</li> <li>・中高生には周囲への声掛けや、全体挨拶・グループ挨拶・準備体操など役割を依頼し、正しい言葉遣い、声量の調整を教えます。</li> </ul>		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動や更衣の際に、「並んで歩く」「服を畳み、所定の場所へしまう」「トイレの後はシャワーを浴びる」など、集団行動へ必要な「羞恥心」「嫌悪感」など他人が困ったり、嫌がったりする行動を学び、適切な行動を促します。</li> <li>・頑張っている仲間も応援できるように促し、集団行動を覚えていきます。</li> </ul>		
家族支援	日常生活の中で、本人が過ごしやすい環境をつくっていただけるよう共有し、適時環境調整や相談援助を行なっています。	移行支援	特別活動時には、地域の学童や事業者と連携し、共に活動する機会をつくっています。また、近隣の障害福祉事業所と交流する機会もつくっています。	
地域支援・地域連携	各関係機関で役割分担を行うとともに、各機関で得られた情報を共有し、日常生活や支援に必要な具体策を提案し、連携を深めています。また、海部南部障害者自立支援協議会に参加し、地域課題への理解を深め、課題解決へ積極的に取り組んでいます。	職員の質の向上	理学療法士や作業療法士による社内研修を行なっています。また、外部講師を招いたり、外部研修への参加も行なっています。	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月固定：書道教室／映画鑑賞</li> <li>・祝日、学校長期休暇：ミニ四駆大会／水中運動会／夏祭り／クリスマス会／餅つき大会／マス釣り体験</li> </ul>			